

みんなの力で守ろう三番瀬！集い
～2012年ラムサール条約登録湿地に！～

11月30日、船橋市民文化センターにおいて開催されました。

第一部

活動に賛同する周辺地域の方々によるダンス・合唱等
参加：チーム三番瀬・三曲陸会・東葛合唱団
千葉合唱団・よさこい明日風・山本リンダさん



美しい合奏、元気な歌声、すばらしい演技に感動。そして、山本リンダさんの『海より生れしもの』に生命の源は「海」であることを改めて感じました。

第二部

講演：千葉大学倉坂秀史教授
パネラー：千葉県環境センター小倉久子さん・船橋市漁業協同組合大野一敏さん
NGO 三番瀬をラムサール条約湿地に登録する会田久保晴孝さん



【三番瀬をラムサール条約湿地として登録する理由】（倉坂秀史教授より）

ラムサール条約湿地になるメリット

- ・三番瀬の重要性を世間に認識してもらえる
(次世代に受け継ぐべき千葉県の宝)
- ・三番瀬に向き合ったまちづくりのきっかけになる
(海と街が切り離されているので、海を守る力が弱い。三番瀬に人々の目が向き、人が集まり、三番瀬で生活する人が増えれば三番瀬は守られる)
- ・三番瀬の自然を活かした生業（漁業・観光業）が続けられる
(ラムサール条約＝自然保護＝自然に手をつけるなという考えではない。自然に手を加えて豊かな生態系を維持するという考え方 (Wise Use: ワイズユース「里山」の考え方) が適用される。これは三番瀬の自然を活かした生業がずっと続けられる保証を与えるもの)

これはよい考えだと思いますが、その前に、生態環境をしっかりと把握することが不可欠だと思います。

【船橋市漁業共同組合：大野一敏さん】

三番瀬は食糧供給源（スズキの水揚げ年 1,200 トン）

- ・浦安・市川・船橋・習志野市に囲まれた生態系豊かな場所
- ・街の発展の原動力



【千葉県環境センター：小倉久子さん】

海は自ら浄化の力を持っている
海の生き物の力が浄化する力を持っている
アサリがプランクトンを食べるから赤潮にならない
アサリをとる（漁業）→海の浄化

鳥は良い海を知っている
鳥がたくさん来る＝よい海
*鳥がたくさん来るのがラムサール登録の条件の一つ



東邦大学の学生さん

ここで見て感じたこと、知ったことを、伝えることも活動の一つです。



今の私に何ができるだろう？何もできない、そう思っていたが、この学生さんの言葉に、ここで一人でも多くの人に伝えることができると勇気をもらいました。